



2022年2月10日

各位

上場会社名 東邦亜鉛株式会社  
代表者 代表取締役社長 丸崎 公康  
(コード番号 5707)  
問合せ先責任者 経理部長 田邊 正樹  
(TEL 03-6212-1716)

### 業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向等を踏まえ、2021年11月9日に公表した2022年3月期通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想を、以下のとおり修正することとしましたのでお知らせいたします。また、これに伴い、以下のとおり1株当たり配当予想を修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

#### 1. 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日～2022年3月31日)

##### ① 修正の内容

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	110,500	8,400	7,400	6,100	449.01
今回修正予想(B)	124,000	9,700	8,300	7,000	515.53
増減額(B-A)	13,500	1,300	900	900	
増減率(%)	12.2	15.5	12.2	14.8	
(参考) 前期連結実績 (2021年3月期)	103,469	5,894	5,419	5,508	405.67

② 修正の理由

	前回発表	今回修正	増減額
	百万円	百万円	百万円
売上高	110,500	124,000	13,500
営業利益	8,400	9,700	1,300
(製錬)	4,500	5,700	1,200
(環境・リサイクル)	1,700	1,700	—
(資源)	1,600	1,600	—
(電子部材・機能材料)	500	700	200
(その他)	600	700	100
(調整額)	▲500	▲700	▲200
経常利益	7,400	8,300	900
当期純利益	6,100	7,000	900

金属相場、特に亜鉛相場は依然高い水準を維持しており、第3四半期累計期間終了時点では製錬、環境・リサイクル、資源を含む、すべてのセグメントで前回公表値に比して増益となる見込みです。

結果的には第3四半期会計期間での増益影響が大きく、通期では前回公表比で増収・増益となる見込みです。

(金属価格・為替の予想前提)

	前回公表	今回修正		
	通期 (予想)	第3四半期累計 (実績)	第4四半期 (予想)	通期 (予想)
亜鉛 LME(US\$/t)	3,077	3,091	3,500	3,193
鉛 LME(US\$/t)	2,217	2,266	2,200	2,250
銀 LDN(US\$/oz)	24.8	24.8	22.0	24.1
為替(¥/US\$)	109.9	111.1	114.00	111.8
為替(US\$/A\$)*	0.762	0.758	0.750	0.756

\*：豪州子会社は12月決算であり、第3四半期累計は1月～9月、第4四半期は10月～12月となります。

## 2. 配当予想の修正

### ① 修正の内容

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想（2021年5月13日発表）		50.00	50.00
今回修正予想		75.00	75.00
当期実績	0.00		
前期実績（2021年3月期）	0.00	50.00	50.00

### ② 修正の理由

現在、2019年度に棄損した財務基盤の再構築中であり、当面は将来の成長原資とするために一定の内部留保も必要なことから、期末配当は1株当たり、前回予想の50円から75円への増額とさせていただきます。

## 3. 説明資料

「2021年度Q3累計決算説明及び通期業績予想修正説明資料」を別途TDnet及び当社ホームページで開示しておりますのでご参照ください。

（注）上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上